

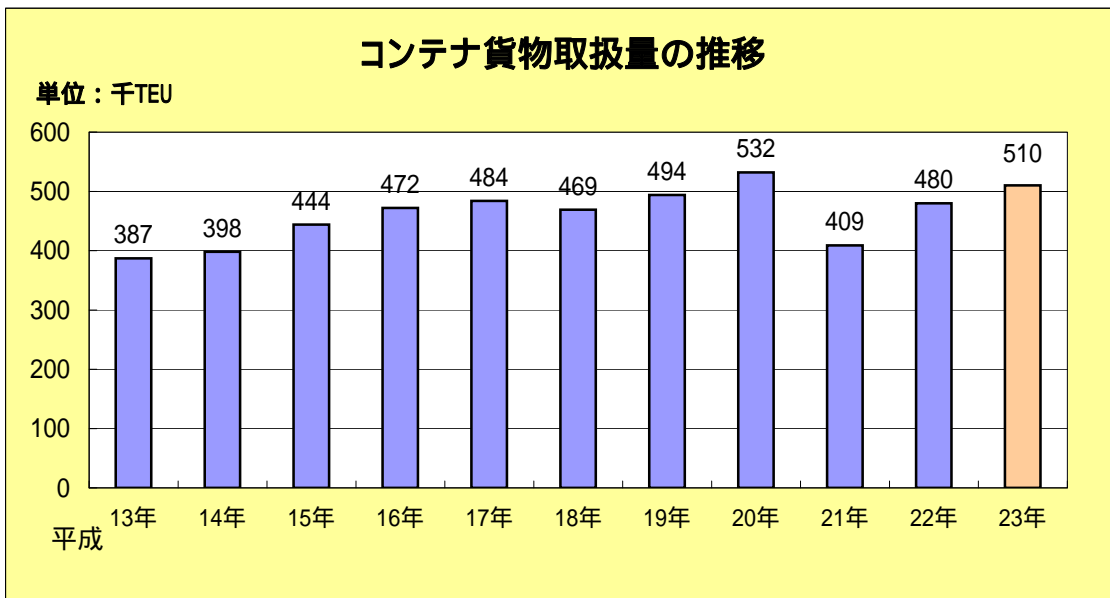
平成23年 北九州港の貨物取扱量（速報値）について

～前年比6.2%増、3年ぶりの50万TEU超え～

1 コンテナ貨物取扱量について

平成23年の北九州港のコンテナ貨物取扱量は、速報値ベースで、510,000TEU、前年と比較して6.2%増となっており、過去最高値を記録した平成20年に次ぐ取扱量となる見込みである。

品種別では、北九州港の主要品種である「自動車部品」が速報値ベースで、前年同期比122%と引き続き増加している他、「ゴム製品」の取扱量が前年同期比117%と増加している。



平成22年までは確定値、平成23年は速報値

【参 考】

コンテナ貨物取扱量の推移

年次	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年速報値
取扱量(TEU)	493,891	531,728	409,229	480,228	510,000
前年比	105.3%	107.7%	77.0%	117.3%	106.2%
				23年/20年比率	95.9%

* 速報値 = 港湾統計集計中の数値とコンテナターミナルで取り扱った数量を合わせて推計した数値

* TEU = 20フィートコンテナに換算したコンテナ個数の単位。Twenty-Foot Equivalent Unitの略。
20フィートコンテナ1個が1TEU、40フィートコンテナ1個が2TEUとなる。

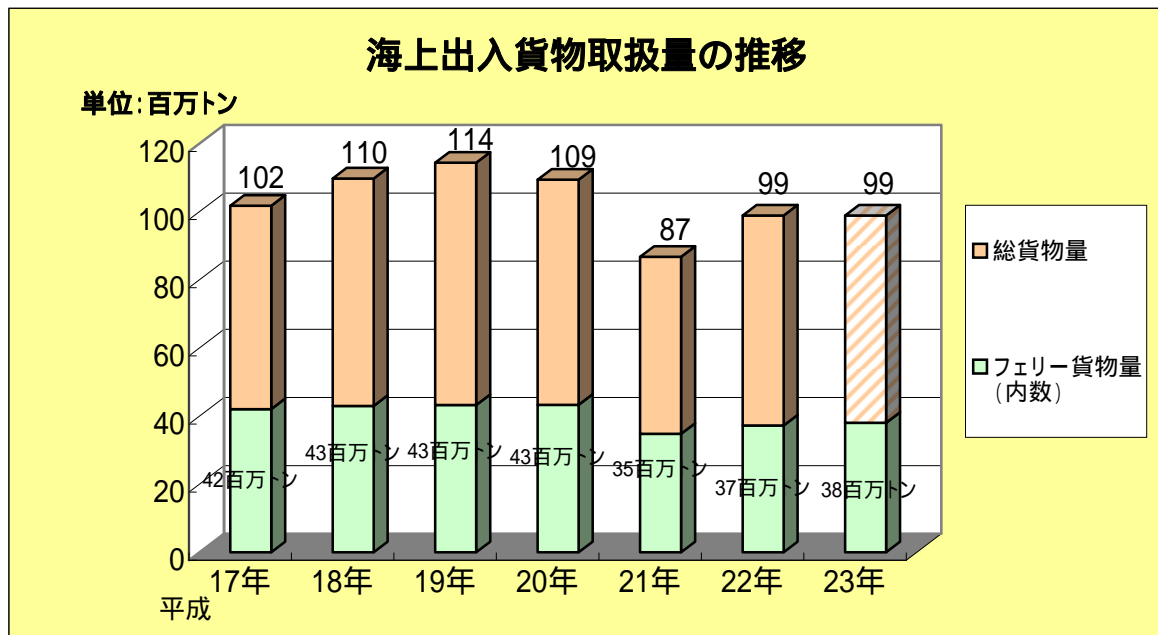
* 集計は暦年による（1月から12月までの取扱量）

2 海上出入貨物取扱量について

港全体で取り扱われる貨物量を表す、海上出入貨物取扱量については、前年同期比100.0%、9,880万トンを見込んでいる。

品種別で見ると、北九州港取扱貨物の上位品種のうち、「石炭」は増加する見込みであるが、「鉄鉱石」、「鋼材」、「コークス」はやや減少する見通しである。

一方、内航フェリー貨物取扱量については、前年同期比102.1%と、やや増加している。



平成22年までは確定値、平成23年は速報値

【参 考】

海上出入貨物取扱量の推移

年次	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年速報値
取扱量(トン)	114,350,004	109,367,359	86,744,847	98,844,428	98,800,000
前年比	104.2%	95.6%	79.3%	113.9%	100.0%

フェリー貨物取扱量の推移 (海上出入貨物取扱量の内数)

年次	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年速報値
取扱量(トン)	43,237,665	43,294,960	34,758,515	37,229,545	38,000,000
前年比	100.6%	100.1%	80.3%	107.1%	102.1%

*23年数値は集計途中のため、見込みを推計した速報値です。今後変動する可能性がありますのでご了承下さい。

23年の最終確定値は、5月に公表予定です。

港湾空港局 港営課
小川、松元 321-5932